

「蓄熱専門委員会 IEA 蓄熱分科会」2026 年度会員募集のご案内

IEA 蓄熱分科会では、活動趣旨にご賛同いただける企業・団体様による会員を募集しております。

1. 当分科会の目的

(一財) ヒートポンプ・蓄熱センターは、日本政府から IEA (国際エネルギー機関) エネルギー貯蔵技術協力プログラム (The Energy Storage Technology Collaboration Program) の締約者としての指定を受け、本プログラムに参加し、関連する国際共同研究活動 (年 2 回の執行委員会への参加、Task (旧称 Annex : 国際共同研究プロジェクト) への参加、3 年毎のエネルギー貯蔵国際会議への参加) を展開しております。

蓄熱専門委員会 IEA 蓄熱分科会は、本プログラムにおける日本のナショナルチームとして、各種エネルギー貯蔵技術の研究・開発・応用・設計・評価・経済性などに関する情報交換を行い、日本におけるエネルギー貯蔵技術の一層の発展と普及の促進を目的に、日本国内での意見交換を行っております。

(参考) IEA エネルギー貯蔵技術協力プログラム 参加国(2025 年 11 月時点) :

ベルギー、カナダ、チェコ、中国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、日本、イスラエル、オランダ、ノルウェー、オーストリア、スロベニア、韓国、スウェーデン、スイス、トルコ、英国、米国の 21 ヶ国及び 3 スポンサー (ドイツ、スペイン)

2. 組織および運営

当分科会では、上記の目的を達成するための活動を積極的に推進しております。

運営方法としては、本分科会会合を年 2 回程度開催するとともに、日本が参加している Task ごとにワーキンググループ (WG) を編成し、必要に応じ会合を開催しております。

3. これまでの活動状況

1997 年度より活動を開始して以来、会員様のご協力を得て活発な Annex、Task 活動を推進しております。現在までに参加した Annex、Task は以下の通りです (いずれも終了しております)。

- ① Annex 8 : 地下蓄熱の普及促進
- ② Annex 10 : 相変化材料と化学反応による蓄熱
- ③ Annex 13 : 地下蓄熱井戸およびボアホール設計、掘削、メンテナンス技術
- ④ Annex 14 : 冷房用蓄熱技術
- ⑤ Annex 17 : 潜熱蓄熱と化学反応を応用した最新蓄熱技術—フィージビリティスタディとデモンストレーションプロジェクト
- ⑥ Annex 18 : 蓄熱技術応用による熱エネルギー輸送
- ⑦ Annex 20 : 蓄熱によるサステナブル(持続可能)な冷房
- ⑧ Annex 21 : (地中熱利用における) 熱応答試験
- ⑨ Annex 24 : コンパクトな蓄熱材料の開発とシステムへの適用
- ⑩ Annex 25 : 先進蓄熱技術を用いた CO₂ 削減のための余剰熱有効利用
- ⑪ Annex 27 : 地中採熱ボアホール蓄熱における設計・施工・運転時の品質管理
- ⑫ Annex 29 : 蓄熱システム構築に向けたコンパクトな蓄熱材料の開発と研究
- ⑬ Annex 30 : 低コストで効率的なエネルギー管理と CO₂ 削減に貢献する蓄熱材料
- ⑭ Annex 31 : 蓄エネルギーを組み込んだ高効率建物／高効率 DHC の最適化 (設計・運用) の検討
- ⑮ Task 36 : カルノーバッテリー
- ⑯ Task 37 : エネルギー貯蔵のスマートな設計と制御

2025 年度は、Task44「ゼロカーボン (産業用) 熱・電力供給のための P2H および熱統合カルノーバッテリー」へ参加し、専門家会議などの活動を複数回にわたり行ってまいりました。

また、気候の類似したアジアでの蓄熱システムの技術発展と普及促進ならびに、アジア発の研究テーマ提案を図るため、日中韓蓄熱ネットワークを 2013 年度に設立し、中国・韓国の専門家と連携しております。2025 年度は中国・杭州で専門家会議とワークショップを行い、意見・情報交換を行いました。

以上の活動の成果、情報については、分科会会合で随時共有しております。

4. 2026 年度の活動内容

2026 年度は以下の活動を実施する予定です。

(1) 執行委員会

諸課題の進捗状況、意見交換など執行委員会の結果に関する情報を共有するとともに、新しい Task への参加などに関する意見交換を行ってまいります。

(2) Task44 「ゼロカーボン（産業用）熱・電力供給のための P2H および熱統合カルノーバッテリー」

旧 Task36 「カルノーバッテリー」において検討を行った、電力を熱に変換して大容量のエネルギーを低コストで貯蔵する技術（カルノーバッテリー）について、後継の Task44 において、産業用プロセスヒートへの有効利用など、具体的なエネルギーシステムへの適用を検討してまいります。

（期間：2023 年 3 月～2026 年 12 月。タスマネジャー：ドイツ DLR）

(3) 日中韓蓄熱ネットワーク

専門家会議とワークショップを行い、意見・情報交換を行う予定です。

5. 主査・委員（敬称略）

分科会主査：名古屋大学 名誉教授 奥宮 正哉

Task-44WG 主査：北海道大学 教授 能村 貴宏

委員：大学・研究機関、企業・団体様等からの委員で構成しております。

会員様は、委員として参加をお願いいたします。会員様は、Task のワーキンググループ（WG）活動にも参加いただけます。

6. 活動期間

2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（会員は毎年度募集しております）

7. 参加費

参加費は 1 年分の一括払いといたします。参加申込書をお送りいただいた後に請求書をお送りいたします。

ヒートポンプ・蓄熱センター 賛助会員法人：330,000 円／社・年（消費税 10%込）

〃 非賛助会員法人：385,000 円／社・年（消費税 10%込）

8. 参加申込方法

参加申込書（別紙）にご記入の上、E メールにて事務局宛にお送りください。なお、お申し込みは随時受け付けております。

9. 連絡先（事務局）

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター IEA 蓄熱分科会事務局 桑田

（TEL：03-5643-2404、E メール：kuwada.masatoshi@hptc.j.or.jp）

10. 会員特典

会員様には、以下の特典があります。

(1) IEA エネルギー貯蔵技術協力プログラムの各活動（執行委員会、Task、エネルギー貯蔵国際会議）に関する最新の情報や成果を入手いただけます。また、会員専用ホームページ等にて共有いたします。

(2) 本分科会にかかる事業運営や研究プロジェクトなどに関し、会員様のニーズに基づきご提案

いただけます。

- (3) 本分科会会合に参加いただくことで、本分科会委員（国内の学識者、会員企業・団体等）間で意見交換、交流を行っていただけます。また、日中韓蓄熱ネットワークに参加いただくことで、中国・韓国の専門家と意見交換、交流を行っていただけます。

以上